

特別企画：滋賀県内企業メインバンク調査

滋賀銀行が全地域、全業種でシェアトップ ～第2位は関西みらい、地元信金も存在感を見せる～

はじめに

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化が響き、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。上場地銀の2020年4-9月期中間決算では、発表分のうち6割にあたる49行・グループの最終損益が減益・赤字となった。各金融機関ではこれまで、店舗統廃合や人員削減を積極的に推し進めたコスト圧縮や、フィンテックなどIT化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など、攻防含めた生き残り策を続けてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態に直面するなか、融資先企業の業績悪化などから与信費用が増加するなど逆風が吹いている。

折しも、菅義偉首相が「地銀は多すぎる」と述べるなど、金融機関の再編圧力は再び高まっている。近畿では今年1月に大阪の第二地銀である大正銀行と徳島銀行が合併し、徳島大正銀行が誕生。地銀再編が進むなか、収益力向上とともに、地元での存在感、広域化、コンサルティング機能向上など生き残りのために独自色を打ち出した施策が求められている。

帝国データバンク滋賀支店では、2020年12月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている滋賀県内の企業（13,514社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。同調査は2020年2月に続き4回目。

本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なることがある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果（要旨）

1. 滋賀県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「滋賀銀行」で全体の59.1%を占めた。「関西みらい銀行」がシェア13.6%でこれに続き、上位2行でシェア7割超を占める
2. 滋賀県内の企業を本社が所在する7地域別にみると、いずれの地域でも「滋賀銀行」がトップ。「関西みらい銀行」が7地区中4地区で2位、残り3地区では地元信金が存在感を見せた
3. 滋賀県内の企業を主要7業種別にみると、全業種で「滋賀銀行」がトップ、「関西みらい銀行」が2位となった。「滋賀銀行」のシェアは「建設」で62.8%と最も高かった

1. 県内ランキング ～滋賀銀行が59.1%でトップ～

滋賀県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「滋賀銀行」（大津市）が7,992社（前回は101社減）、構成比59.1%（同0.2pt減）で、2位以下に大きく差をつけて首位となり、滋賀県内では圧倒的な存在感を示した。2位は、2010年3月に滋賀県を地盤とするびわこ銀行を吸収合併した関西アーバン銀行と近畿大阪銀行の合併で誕生した「関西みらい銀行」（大阪府中央区）の1,836社（同28社減）、構成比13.6%（同0.1pt減）となった。上位2行とも前回から社数・シェア共に減少したものの、シェアの合計は7割を超えた。

県内に本店を置く金融機関では、「滋賀中央信金」（665社、構成比4.9%）が社数・シェアともに伸ばし3位、「長浜信金」（480社、同3.6%）が前回から順位を落とし5位、湖東信金（411社、同3.0%）が6位、「滋賀県信組」（222社、同1.6%）が8位となった。

関西みらい銀行以外の県外の金融機関では「京都信金」（483社、同3.6%）が社数・シェアともに伸ばし4位、「京都銀行」（260社、同1.9%）が7位となった。メガバンクでは「三菱UFJ銀行」（142社、同1.1%）が唯一上位10行に入った。

メインバンク社数上位行

【参考】前回

順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	滋賀	7,992	59.1
2	関西みらい	1,836	13.6
3	滋賀中央信金	665	4.9
4	京都信金	483	3.6
5	長浜信金	480	3.6
6	湖東信金	411	3.0
7	京都	260	1.9
8	滋賀県信組	222	1.6
9	三菱UFJ	142	1.1
10	京都中央信金	137	1.0
11	大垣共立	125	0.9
12	三井住友	85	0.6
13	みずほ	70	0.5
14	りそな	64	0.5
15	商工中金	52	0.4
16	グリーン近江農協	25	0.2
16	ゆうちょ	25	0.2
18	滋賀県信連	18	0.1
18	甲賀農協	18	0.1
20	東びわこ農協	16	0.1
20	草津市農協	16	0.1

順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	滋賀	8,093	59.3
2	関西みらい	1,864	13.7
3	滋賀中央信金	648	4.8
4	長浜信金	483	3.5
5	京都信金	474	3.5
6	湖東信金	419	3.1
7	京都	258	1.9
8	滋賀県信組	223	1.6
9	三菱UFJ	138	1.0
10	京都中央信金	130	1.0
11	大垣共立	128	0.9
12	三井住友	87	0.6
13	みずほ	74	0.5
14	りそな	66	0.5
15	商工中金	53	0.4
16	グリーン近江農協	25	0.2
16	ゆうちょ	25	0.2
18	甲賀農協	19	0.1
19	滋賀県信連	18	0.1
20	東びわこ農協	17	0.1

2. 地域別シェアランキング

地域別¹にみると、「滋賀銀行」が全地域で50%を超えて首位となり、圧倒的な強さを見せた。また、「関西みらい銀行」が7地区中4地区で2位となり、残りの3地区でも3位となった。信金では「滋賀中央信金」「長浜信金」「湖東信金」がそれぞれ本店（本部）を置くエリアで2位に入り、地域金融機関としての強みを見せた。その一方で、近隣県の金融機関では「京都銀行」が7地区中4地区でランクインするほか、「京都信金」「大垣共立銀行」もそれぞれ2地区でランクインを果たした。

前回調査と比較すると、トップ2行が軒並み社数・シェアを落とすなか、【大津エリア】では「京都信金」、「京都銀行」、「京都中央信金」、【湖南エリア】では「京都信金」、【甲賀エリア】では「京都銀行」がそれぞれ社数・シェアともに伸ばすなど、京都を基盤とした金融機関が存在感を見せた。なお、全地域において上位行に順位の変動は見られなかった。

地域別メインバンク社数上位行

【大津エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	1,534	57.2
2	関西みらい	453	16.9
3	京都信金	276	10.3
4	京都	94	3.5
5	京都中央信金	78	2.9

【湖南エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	1,717	59.6
2	関西みらい	430	14.9
3	京都信金	184	6.4
4	滋賀中央信金	147	5.1
5	京都	70	2.4

【湖東エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	1,022	61.7
2	滋賀中央信金	294	17.8
3	関西みらい	167	10.1
4	りそな	35	2.1
5	大垣共立	28	1.7

【湖北エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	930	52.3
2	長浜信金	470	26.4
3	関西みらい	186	10.5
4	大垣共立	93	5.2
5	北びわこ農協	15	0.8

【東近江エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	1,386	57.9
2	湖東信金	355	14.8
3	関西みらい	262	10.9
4	滋賀中央信金	205	8.6
5	京都	32	1.3

【甲賀エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	973	64.9
2	関西みらい	194	12.9
3	滋賀県信組	149	9.9
4	湖東信金	41	2.7
5	京都	24	1.6

【高島エリア】

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	430	69.5
2	関西みらい	144	23.3
3	滋賀県信組	13	2.1

¹エリアの区分は次のとおり

大津エリア＝大津市 湖南エリア＝草津市、守山市、野洲市、栗東市 東近江エリア＝近江八幡市、東近江市、蒲生郡 湖北エリア＝長浜市、米原市 湖東エリア＝彦根市、犬上郡、愛知郡 甲賀エリア＝甲賀市、湖南市 高島エリア＝高島市

3. 業種別ランキング

主要7業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「運輸・通信」「不動産」「サービス」）別にみると、「滋賀銀行」が全業種にわたって5割超のシェアを占めてトップとなり、「建設」では6割を超えた。2位は全業種で「関西みらい銀行」が、3位は全業種で「滋賀中央信金」が占めた。

トップ2行である「滋賀銀行」と「関西みらい銀行」が多くの業種で社数・シェアを落とすなか、信用金庫を中心にシェア拡大への動きを見せている。上位行において大きな順位の変動は見られないものの、地銀・信用金庫による地場企業の獲得競争が熾烈化している。

主要7業種別メインバンク社数上位行

【建設】				【製造】				【卸売】			
順位	金融機関名	社数	構成比(%)	順位	金融機関名	社数	構成比(%)	順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	3,030	62.8	1	滋賀	987	55.7	1	滋賀	661	59.1
2	関西みらい	783	16.2	2	関西みらい	199	11.2	2	関西みらい	116	10.4
3	滋賀中央信金	251	5.2	3	滋賀中央信金	89	5.0	3	滋賀中央信金	58	5.2
4	長浜信金	175	3.6	4	京都信金	75	4.2	4	京都信金	56	5.0
5	湖東信金	148	3.1	5	三菱UFJ	65	3.7	5	長浜信金	41	3.7
6	京都信金	135	2.8	6	京都	59	3.3	6	京都	31	2.8
7	滋賀県信組	73	1.5	6	長浜信金	59	3.3	7	湖東信金	29	2.6
8	京都	66	1.4	8	湖東信金	53	3.0	8	滋賀県信組	20	1.8
9	京都中央信金	44	0.9	9	三井住友	35	2.0	9	三菱UFJ	16	1.4
10	大垣共立	30	0.6	10	滋賀県信組	29	1.6	10	三井住友	15	1.3
										15	1.3

【小売】				【サービス】				【運輸・通信】			
順位	金融機関名	社数	構成比(%)	順位	金融機関名	社数	構成比(%)	順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	1,027	59.3	1	滋賀	1,537	58.3	1	滋賀	269	56.4
2	関西みらい	210	12.1	2	関西みらい	320	12.1	2	関西みらい	89	18.7
3	滋賀中央信金	103	5.9	3	滋賀中央信金	101	3.8	3	滋賀中央信金	17	3.6
4	長浜信金	76	4.4	4	京都信金	97	3.7	4	長浜信金	16	3.4
4	京都信金	76	4.4	5	長浜信金	82	3.1	5	商工中金	14	2.9
6	湖東信金	73	4.2	6	湖東信金	70	2.7				
7	滋賀県信組	40	2.3	7	京都	42	1.6				
8	京都	30	1.7	8	滋賀県信組	35	1.3				
9	大垣共立	21	1.2	9	三菱UFJ	21	0.8				
10	京都中央信金	17	1.0	10	京都中央信金	20	0.8				

【不動産】			
順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	滋賀	363	52.8
2	関西みらい	99	14.4
3	滋賀中央信金	37	5.4
4	長浜信金	27	3.9
5	京都信金	25	3.6

4. まとめ

滋賀県下のメインバンクは、引き続き「滋賀銀行」が6割近いシェアを有し、全地区、全業種でトップとなり、地元を地盤とする地域金融機関としての存在感を見せた。他方、2010年にびわこ銀行を吸収合併した関西アーバン銀行と近畿大阪銀行が合併して誕生した「関西みらい銀行」が7地区中4地区で2位、主要7業種の全業種で2位となった。また、信金が地元地区で強みを発揮するほか、近隣県の地銀や信金も上位に入った。

近年、少子高齢化による地域人口の減少や低金利政策の長期化など収益を上げづらい環境が続いている。さらに、2020年以降は新型コロナウイルスの感染拡大により、融資先の貸し倒れに備えた与信関係費用が増加するなど業績悪化に拍車が掛かり、地銀再編が加速している。しかし、苦境に陥る中小企業や飲食事業者からは、地銀に資金繰り支援を求める声も多く、コロナ禍において地域金融機関の必要性が再認識されたとの見方もある。

各行が、地元での存在感や広域化、コンサルティング機能向上など生き残りのために独自の施策を打ち出す必要性がますます増加するなかで、熾烈なシェア獲得競争が続いていくものと見られる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク滋賀支店 担当：北村伸泰

TEL 077-566-8230 FAX 077-566-8233

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。